

(3) 2013年(平成25年)10月17日(木曜日)

ポスターで活動をプレゼン

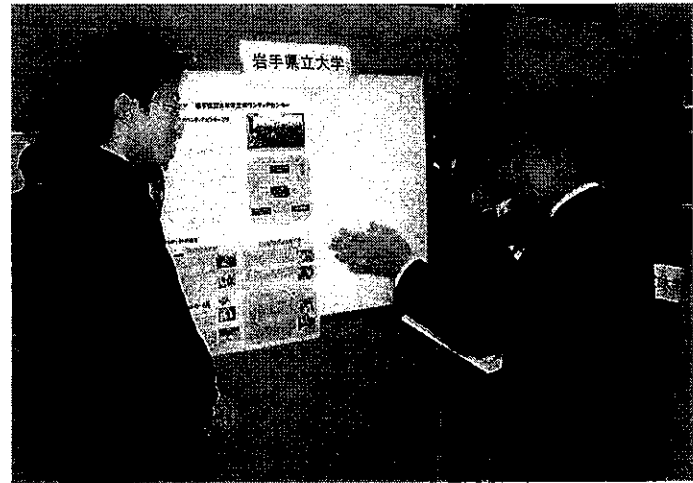
岩手県立大で 全国の公立83大学参加

全国公立大学学長会議と全国公立大学学生会大会が12、13日、滝沢村の県立大学で開かれた。全国83の公立大学の学長、副学長、学生ら約170人が参加。学生の地域活動などに

ついてパネルディスカッションが行われ、互いの理解を深めた。毎年、全国の公立大学で初めてポスターセッションが行われた。

ポスターセッションは「地域貢献活動」「地域に関する研究活動」「被災地支援・地域防災活動」のいずれかをテーマに、学生が各大学の活動を紹介します。学長たちがポスターを見て回り、学生たちが説明した。

岩手県立大学社会福祉学部の小原裕也さん(3年)は同大学生ボランティアセンターの活動を紹介。「県立大の復興支援活動の四つの大きな動きを見てほしい。センターがどう地域に貢献しているかを話し、2011年に、いわて銀河ネットプロ



全国の学生たちが学長たちにプレゼン

ジェクトを立ち上げ、全国の学生と行動したことなど」と話した。横浜国立大学の「保育所×地域マップワークショップ」の平本智恵里代表は、保育所と地域の防災の関わりについて説明した。「被災地に来て防災についてこのような視点で取り

組んだらというアドバイスをもらい、今後のワークショップに生かしたい」と話していた。宮崎公立大学の林弘子学長は「日々の問題が生々しく伝わる説明が多く、大学教育が活性化していると感じた」と話し、感心していた。